

事業所理念		『遊びましょう』子どもさんに楽しい空間遊び場を提供し可能性を追求する 『とんち』みんなで知恵をだしあい工夫して住み良い楽しい社会をつくりだす 『ひとやすみ』家族がリフレッシュして元気に子どもさんを養育できるよう支援する		
支援方針		小集団の中で支援者や友達とあそびを通してコミュニケーションの力や社会性を育て、保護者とともに基本的な生活スキルの獲得・生活リズム・生活習慣の形成を目指す。		
営業時間		午前8時30分～午後5時30分	送迎実施の有無	有(但し保護者の出産前後時期等の条件有り)
支援内容				主な活動(あそび)
本人支援	健康生活	【ねらい】①健康状態の維持・改善②生活リズム・生活習慣の形成③基本的な生活スキルの獲得 ・保護者との情報共有のもと、日々の健康状態や体調の変化について観察を行う。 ・同じ利用曜日・同じ時間帯の安定したスケジュールでの通園により、安定した生活リズムを作る。 ・自分の名前や印のついたロッカーに荷物を置き、自分で物の出し入れが出来るように支援する。(お片付けの練習) ・食事・排泄・衣類着脱・活動を通して基本的な生活スキルが身につくように支援する。 ・楽しい雰囲気の中で食事をする事で、苦手な食べ物への抵抗感を少なくし、食べられる物の幅を拡げていけるように支援する。 ・保護者との情報共有のもと、子どもひとりひとりの発達段階に合わせたオムツ外しの支援、定時のトイレ誘導や便座に座る練習等を行う。		・朝の会、帰りの会 ・設定活動
	運動感覚	【ねらい】①姿勢と運動・動作能力の向上②姿勢と運動・動作能力の補助手段の活用③保有する感覚の総合的な活用 ・ピアノに合わせて身体を動かすリトミックを毎日実施(強弱・速度・ストップ・スタート)し、専門の講師による音楽療法を月1回実施することで、音楽と運動を一致させ、自らの身体に気づき、身体バランスや協調運動を向上させることができるように支援する。 ・粗大運動(トランポリン・滑り台・鉄棒等の室内遊具、サーキット・トンネルくぐり等の運動あそび)を導入することで、体幹を鍛え、バランス感覚を養い、楽しく遊びながらボディイメージを作ることができるように支援する。 ・感覚あそび(小麦粉粘土・片栗粉粘土・キネティックサンド・新聞紙あそび・水あそび・ボディペインティングやフィンガーペインティング等)を通して様々な感覚の機能を育ていけるように支援する。 ・子どもの発達段階に合わせた製作活動(マーカー・クレヨン・はさみ・でんぷんのり・えのぐ・テープ・シール等の道具や素材を使用しての微細運動)を通して、様々な感覚の機能を育ていけるように支援する。 ・手あそびやパズル・ひも通し等、興味が持てる様々な活動を通して集中して椅子に座り、姿勢を保持しながら手指を動かす機会を積み重ねていけるように支援する。		・リトミック ・音楽療法 ・サーキット等の運動あそび ・水あそび ・粘土あそび等の感覚あそび ・道具等を使った製作あそび
	認知行動	【ねらい】①空間・時間・数等の概念形成の修得②対象や外部環境の適切な認知と行動の修得 ・安心して過ごせる場となり、支援者と信頼関係が築けるよう、子どもの好きなあそびや話に寄り添い、それぞれのペースに合わせて環境を調整する。 ・見通しを持って取り組めるように一日の流れや活動の手順を写真・番号(数字カード)・イラストカード・実物などを使用し、ことばでの説明に加えて目で見て理解しやすい(視覚的に)説明をする。また、始まりと終わりが分かる流れで設定活動を行い、活動の終わりの時間を事前に時計の数字で知らせることで、時間を意識することができるように支援する。 ・小集団でのあそびの中で、不安な気持ちや要求などの意思表示とそれを受けとめてもらえる経験を通して、「してみようかな」「がんばった」「できた」「楽しかった」という体験、支援者の指示や説明を受け入れる経験、選択肢から自分で選ぶ経験を積み重ねていけるように支援する。 ・文字や数字に楽しく興味を持つことから始められるように、活動の内容や日常のやりとりに取り入れ、あそびを通して大小・時間・色などの概念形成の修得を支援していく。 ・散歩などの戸外活動や季節の製作あそびを通して五感を使い季節を感じることができるよう支援する。また、散歩や公園等へ出かける際は、危険認知の力を育てていくことができる様、信号の確認の仕方や車を意識した歩き方を伝え、交通マナーが身に付くように支援する。		・絵本の読み聞かせ ・散歩などの戸外活動

本人支援	言語 コミュニケーション	【言語・コミュニケーション】①言語の形成と活用②言語の受容および表出③コミュニケーションの基礎的能力の向上④コミュニケーション手段の選択と活用 ・小集団の中で友達や支援者に対し、ことば・ジェスチャー・絵カード等、それぞれの子どもに合わせたコミュニケーションツールで意思表示ができるように支援する。 ・自分の思いをことばで伝えることが苦手な場合は、支援者が代弁して伝え方を知らせたり、 安心した環境の中で少しずつ思いを表出できるように支援する。 ・ことばにできない思いを支援者が受けとめつつ言語化し、自分の思いが伝わる経験、伝わる楽しさを感じられるように支援する。 ・あいさつや友達の名前、支援者の名前を呼ぶ・人に呼ばれて返事をする機会を重ねていけるように支援する。 ・目を見てのあいさつや会話・場面に合わせたことば・表情・声の大きさの調整など、支援者が仲介したりモデルになる等しながら経験を重ねていけるように支援する。		・朝の会 ・帰りの会 ・ごっこあそび ・おままごとあそび
	人間関係 社会性	【ねらい】①他者との関わり(人間関係)の形成②自己の理解と行動の調整③仲間づくりと集団への参加 ・簡単なしごとを行う「お当番」を日替わりで子どもが担うことで、自分の役割を意識しながら責任感を育んでいけるように支援する。 ・日替わりで「お当番」になることで、必要とされたりお礼を言われたりする経験を積み重ね、自信や達成感を得られるように支援する。 ・ごっこあそび等のやりとりを必要とする活動を取り入れ、支援者も一緒にあそびを楽しみながらやりとりの見本となり、友達への興味や他者と関わることの楽しさを感じるきっかけができるよう支援する。 ・簡単なルールのあるあそび(かくれんぼやイスとりゲーム等)を活動に取り入れ、集団でのルール(順番待ち・物の貸し借り等)をあそびの中で楽しみながら学び、社会性を身につけていけるように支援する。 ・思い通りにいかない時の気持ちの対処をスローステップ(スモールステップ)で一緒に考え、実践していくことができるように支援する。 ・待ち時間など、子どもひとりひとりが達成可能なルールを設定し、本人が理解しやすいように工夫しながら気持ちに寄り添い、繰り返し経験することで、折り合いをつけながらできることを増やしていけるよう支援する。		・朝の会 ・帰りの会 ・ごっこあそび ・おままごとあそび ・かくれんぼ ・イスとりゲーム ・散歩 ・公園や公共施設へのお出かけ ・モビリティバス乗車体験
家族支援	通園・降園時の情報交換や半年に一度の個別面談等を通じて、家庭・他の通園先での困りやきょうだい児・他の家族との関わりについての悩み、子どもとの向き合い方などについても一緒に考え、助言を行いながら、様々な情報の提供・必要なサービスや相談機関への橋渡しを行う。	移行支援	・保育園・幼稚園(認定こども園)・小学校等との縦横の連携を密に行い、特に進級や進学の際に必要な情報を共有しながら、子ども本人と家族が安心して新しい環境に進んでいけるように支援する。 ・移行支援会議やカンファレンスへの参加と幼稚園や保育園への訪問や行事見学等を積極的に行う。	
地域支援・地域連携	関係する放課後等デイサービスや児童発達支援事業所、児童発達支援センター、相談支援事業所等に様子を報告するなど情報共有を行い、密な連携を図る。	職員の質の向上	・新入職員研修 ・法定研修 ・発達特性と支援の手立てについて研修(外部研修・オンライン研修等)で学び、専門性を高めていく。 ・毎日のミーティングを通して支援の中での気づきや変化等を職員間で共有し、事例検討についても積極的に実施していく。	
主な行事等	・季節に合わせた行事(夏祭り・遠足・クリスマス会・節分鬼退治・大きくなったねの会等) ・保護者会			